

大日本印刷株式会社

DNP グループ 2022 サステナビリティ説明会

2022年10月25日

DNP

イベント概要

[企業名] 大日本印刷株式会社

[企業 ID] 7912

[イベント言語] JPN

[イベント種類] 投資家カンファレンス

[イベント名] DNP グループ 2022 サステナビリティ説明会

[決算期]

[日程] 2022 年 10 月 25 日

[ページ数] 39

[時間] 13:30 – 14:41
(合計：71 分、登壇：41 分、質疑応答：30 分)

[開催場所] 電話会議

[会場面積]

[出席人数]

[登壇者] 4 名

代表取締役専務	宮 健司 (以下、宮)
代表取締役専務	山口 正登 (以下、山口)
常務取締役	井上 覚 (以下、井上)

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



IR・広報本部長

若林 尚樹（以下、若林）

[アナリスト名]* SMBC 日興証券

花屋 武

野村証券

河野 孝臣

大和証券

榮 哲史

*質疑応答の中で発言をしたアナリストの中で、SCRIPTS Asia が特定出来たものに限る

サポート

日本

050-5212-7790

米国

1-800-674-8375

フリーダイヤル

0120-966-744

メールアドレス support@scriptsasias.com



登壇

若林：定刻となりましたので、DNP 大日本印刷、機関投資家・アナリスト向けサステナビリティ説明会を開始いたします。

私は、本日司会を務めます、IR・広報本部の若林でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、お忙しい中説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。本来であれば、皆様方と実際にお顔を合わせながら説明会を開催させていただきたいところですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、安全を最優先し、電話会議という形で開催させていただくことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

サステナビリティ説明会：主な内容

DNP

- | | |
|----------------------|---------------|
| (1) サステナブルな経営の考え方・方針 | 代表取締役専務・宮 健司 |
| (2) 人的資本の強化について | 代表取締役専務・宮 健司 |
| (3) 知的資本の強化について | 代表取締役専務・山口 正登 |
| (4) 環境関連の取り組みについて | 常務取締役・井上 寛 |



2

本日の進行ですが、DNP グループの取り組みについて、四つのパートに分けて、各担当取締役よりご説明いたします。

1、DNP のサステナブルな経営の考え方・方針について、代表取締役専務の宮より、2、人的資本の強化について、同じく代表取締役専務の宮より、3、知的資本の強化について、代表取締役専務の山口より、4、環境関連の取り組みについて、常務取締役の井上よりご説明いたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

その後、質疑応答の時間を設けております。質疑のやり方につきましては、後ほどあらためてご説明いたします。

なお、本日は14時30分までの予定となっておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、初めに、代表取締役専務の宮より、DNPグループのサステナブルな経営の考え方・方針についてご説明をさせていただきます。

それでは、お願いします。

(1) サステナブルな経営の考え方・方針

DNP

ブランドステートメント

未来のあたりまえをつくる。

DNPグループは、人と社会をつなぎ、新しい価値を創出することで、
持続可能なより良い社会と、より心豊かな暮らしを実現していきます。

3

宮：代表取締役専務の宮でございます。皆さん、初めまして。今日はよろしくお願いいたします。

それでは、まず私から、DNPグループのサステナブル経営の考え方・方針について説明させていただきます。

私たちDNPグループは、創業以来、社会に貢献し人々の暮らしを豊かにしていくという志を持ち続け、その思いを今「未来のあたりまえをつくる。」というブランドステートメントに込めております。そして、持続可能なより良い社会と、心豊かな暮らしの実現に向けた挑戦を続けております。

DNPにとっての「挑戦」とは、「未来を今よりも良くしていくこと」であり、私たち自身が主体となって多様な社会課題を解決するとともに、人々の期待に応える価値を創出していくこととさせていただきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



DNP が価値を提供し続けていくためには、あらゆるステークホルダーから常に信頼される企業であり続けなければなりません。そのために果たすべき責任として、「価値の創造」「誠実な行動」「高い透明性」、この三つを掲げております。

近年、ESG を重視した経営やサステナビリティを重視した経営が特に求められておりますけれども、DNP は引き続き多様な環境・社会・経済と、そこで生きる多様な人々への責任を果たし続けて、より良い未来を自らが創り出していく挑戦を続けていきます。

(1) サステナブルな経営の考え方・方針

DNP

- DNPは、**サステナブルな地球の上で初めて、健全な社会と経済、快適で心豊かな人々の暮らしが成り立つと捉えている。**
- 近年は特に、**環境・社会・経済の変化が加速。自分自身が主体となって、環境・社会・経済をより良い方向に変革していくことが大切である。**

Well-being
心豊かな暮らし

Sustainability
持続可能な
環境・社会・経済



DNPグループ統合報告書2022 p.9に掲載 4

私たちはまた、サステナブルな地球の上で初めて、健全な社会と経済、快適で心豊かな人々の暮らしが成り立つと捉えております。

近年は、特に環境・社会・経済の変化が加速し、感染症リスクや地政学リスクなどが顕在化して、各国・地域に大きな影響を及ぼしております。

このように急激な変化が日常的になっている時代には、個々の変化が起きてから対処するのではなく、自分自身が主体となって、環境・社会・経済をより良い方向に変革していくことが大切だと考えております。

そのためにも、常に変動要素としてのリスクを十分に把握して、分析、管理しておく必要があります。

サポート

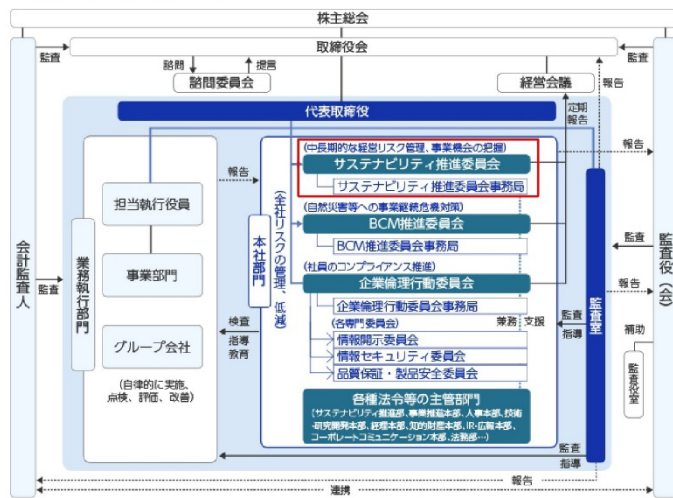
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

(1) サステナブルな経営の考え方・方針

DNP

ガバナンスの強化



DNPグループ統合報告書2022 p.74に掲載

- * 変動要素(リスク)のマイナス影響を抑えるため、統合的なリスクマネジメントを推進
- * 多様な変動要素は事業拡大のきっかけでもあり、リスクをチャンスに転換する施策も強化

【経済関連のリスク】

- 各国・地域とグローバルな市場における経済活動の短期および中長期的変動要素
- 経済活動の基盤となる制度・ルールの変動

【社会関連のリスク】

- 社会で生きる多様な人々の尊厳・権利に関する変動要素
- 健全な社会の構築に向けた制度・ルールの変動

【環境関連のリスク】

- あらゆる企業活動の土台となる地球環境の持続可能性に関連する変動要素
- 地球環境関連に対する制度・ルールの変動

5

その取り組みを強化するため、本年4月「サステナビリティ推進委員会」の体制を強化、再編いたしました。

従来のサステナビリティ委員会を「サステナビリティ推進委員会」として強化し、代表取締役社長が委員長として、BCM推進委員会、企業倫理行動委員会などと連携をいたしまして全社リスクに対応しております。

環境や社会・経済の変化に対して、中長期的な企業活動のもとで全社リスクを分析、管理して、サプライチェーン全体を通じてマイナスの影響を抑えていくと同時に、自らの持つ「P&I」＝「印刷と情報」の強みを掛け合わせ、これもDNPならではの強みであります多様なパートナーとの連携を深めることで、企業としての持続可能性と、環境・社会・経済の持続可能性を共に高めていきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiam.com

SCRIPTS
 Asia's Meetings, Globally

事業環境変化におけるリスクを特定して、新たな事業創出の機会に転換する



DNPグループ総合報告書2022 p.17に掲載

次に、現在認識しております事業リスクと重点課題について説明をいたします。

DNP を取り巻く事業環境は、近年ますます急激、かつ多様なものとなっております。そして、その影響は世界に広がっております。

例えば、技術革新の迅速化や開発強化の激化により、これまでのモノづくりやコミュニケーションの手法が一変することで、私たちが提供する製品やサービスの価値が失われてしまうことも起こり得ます。また、気候変動の激化やエネルギー施策の変化は、私たちの生活を根幹から変えてしまう可能性もあります。

同時に、これらのリスクは、社会や生活者の新たなニーズを喚起しており、DNP にとっての新たな事業創出の機会と考えております。

特に、デジタルトランスフォーメーションの進展と脱炭素社会の構築は、特に重要な社会課題として自らが変化の担い手となり、「オール DNP」の技術、ノウハウ、ネットワークを結集して、新たな価値を提供する注力事業の創出と拡大を図っております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiam.com

メガトレンドの重要課題を解決する注力事業

4つの成長領域における注力事業



DNPグループ統合報告書2022 p.24に掲載 7

前のページで挙げました事業環境における変化の中で、特に重要なメガトレンドである、デジタルトランスフォーメーションの進展や脱炭素社会の構築に向けて、DNPが目指す新しい価値を創出して、社会の期待に応える事業を「注力事業」と位置付けており、重点的な事業開発を進めております。

例えば、脱炭素社会の構築では、電気自動車（EV）の普及に不可欠なりチウムイオン電池向けのバッテリーパウチの開発や、プラスチックの使用量を削減してリサイクルの度合いを高める環境包材の開発に注力しております。

デジタルトランスフォーメーションの進展に対しては、高性能ディスプレイに用いられる有機EL用メタルマスクの開発や、個人情報保護に不可欠な認証・セキュリティシステムの開発にも注力しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

「価値創造」とそれを支える「基盤の強化」

DNP

DNPの価値創造におけるリスクマネジメントの重要課題

価値創造 オールDNP 価値創造を支える基盤	SDGs達成に貢献するビジネス 製品・サービスを通じて、SDGsの達成に貢献する新しい価値を創造し、持続的な社会の発展に貢献する。	
	公正な事業慣行 法令および社会倫理に基づいて、常に公正かつ公平な態度で、秩序ある自由な競争市場の維持発展に寄与する。	
	人権・労働 人類の尊厳を何よりも大切なものと考え、あらゆる人が固有に持つ文化、国籍、人種、民族、言語、宗教、価値観、性別、年齢、性自認、性的指向、障がいの有無などの多様性を尊重し、規律ある行動をとるという前提に立ち、社員の多様性に配慮した働き方を尊重し、健康で安全な活力ある職場の実現をめざす。	
	環境 持続可能な社会の実現に向け、P&Iイノベーションによる新しい価値の創出により「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」をめざす。	
	責任ある調達 高い価値創造と高いコンプライアンス意識の両立をめざし、サプライチェーンにおけるステークホルダーとともに人権や環境などに配慮した調達を行う。	
	製品の安全性・品質 製品・サービスを社会に供給する企業の責任として、安全性や品質の確保を最優先することで社会の信頼を獲得する。	
	情報セキュリティ 個人情報をはじめ、多くの情報資産を取り扱う企業の社会的責務として、情報資産の管理と保護のため、万全なセキュリティを確保する。	
	企業市民 社会とともに生きる良き企業市民として積極的に社会との関わりを深め、社会の課題解決やボランティア活動、文化活動を通じて、社会に貢献する。	

DNPグループ統合報告書2022
p.66～67に掲載

8

より良い未来を創り出すために、先ほど説明いたしましたように、DNPは「注力事業」の拡大による価値の創出を図っております。併せてDNPと社会が共にサステナブルに成長していくために、事業の推進を支える基盤の強化を図っております。

こうした取り組みを進める上で、経営戦略や事業分野などで重要かつ優先しているテーマと、国連グローバル・コンパクトや持続可能な開発目標（SDGs）など、国際社会が重要視しているテーマから、ガバナンスの強化とDNPとして取り組むテーマを推進しております。

特に気候変動や人権など、グローバル規模のサプライチェーン全体でさまざまな課題が顕在化しており、「人権・労働」「環境」を重点的テーマとして取り組んでおります。

社会の発展に貢献することはもちろんでありますけれども、人類の尊厳と多様性の尊重、環境保全と持続可能な社会の実現など、本日はこの後、担当の取締役から最近の具体的な取り組みなども紹介したいと思っております。

以上で、私からのサステナブルな経営の考え方・方針についての説明を終わらせていただきます。

若林：ありがとうございます。

引き続き、代表取締役専務、宮より、人的資本の強化についてご説明させていただきます。

それでは、お願いします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

【新たな価値の創出を加速させる多様な人事諸制度の具体化】

人事諸制度再構築（2019年～2021年）

<方針>

- ①「オールDNP」の総合力の発揮に向け、広く社会全体を意識した仕組みや制度を志向
- ②社員を大切に、大切にされた社員によって企業が成長し、その社員が社会をより豊かにしていく
- ③「ニューノーマル時代」の働き方や新しいマネジメント、さらには処遇のあり方を視野に入れ展開

第1弾（2019年）

<主な制度改定>

- 社外視点を積極的に取り入れるための雇用関連制度
- 新しい価値の創出に向けた人事処遇制度
- 時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方を推進する制度

第2弾（2020年）

<主な制度改定>

- 定年・退職給付に関わる制度の再構築
- 組織風土改革に向けた表彰制度の見直し
- 同一労働・同一賃金への対応
- キャリア開発支援

第3弾（2021年）

<主な制度改定>

- ニューノーマル時代の働き方とマネジメントのあり方
- 複線型キャリア役割等級制度の導入とそれに連動した専門職制度の拡充
- 海外駐在員労働条件の見直し
- ダイバーシティ関連制度の拡充

宮：それでは、私から、引き続き人的資本の強化について説明をさせていただきます。

DNPグループが、持続可能なより良い未来の実現に向けて新しい価値を創造していくための重要な基盤は、一人ひとりの社員に他なりません。その社員を支え、意識と行動を変革して、企業活動の成果へとつなげていくため、人的資本の強化に努め、「人への投資」を積極的に進めてまいりました。

新たな価値の創出を加速させる多様な人事諸制度の具現化のため、2019年度から3年間にわたり、特に社内・社外の双方から見て、魅力的な人事諸制度の実現に集中的に取り組んでまいりました。

2019年度は、その第1弾といたしまして、主に社内外の多彩なキャリアを持つ人材と若手社員を対象にした処遇の改善の他、副業・兼業の容認などの制度改定を行いました。

第2弾となります2020年度は、組織風土改革につながる表彰制度を見直した他、同一労働・同一賃金に対応した仕組み、シニア層の働き方の支援制度などを改定いたしました。

第3弾となる2021年度は、働き方やマネジメントのあり方をあらためて見直し、新たな目標管理制度として、「DNP 価値目標制度」の導入を開始いたしました。また、中堅幹部層を対象にした複線型キャリア制度の導入など、新たな価値の創出を加速させる多様な人事諸制度を具体化いたしました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

「人的資本ポリシー」を最上位概念と位置づけ、人に関わる方針・ビジョン・宣言などを束ね、
 一体的かつ戦略的に人的資本の強化と最大化に取り組み、企業価値の向上につなげていく。



DNPグループ統合報告書2022 p.30に掲載 **11**

さらに、本年度には、社員に対する普遍的、基本的な考え方を「人的資本ポリシー」として制定をいたしました。

このポリシーは、「一人ひとりが強みを伸ばし、社内・社外で活躍できる人財として育ててもらいたい」という思いと、「社員を大切にし、大切にされた社員によって企業が成長し、その社員が社会をより豊かにしていく」という信念を明確に社内外に示すものです。

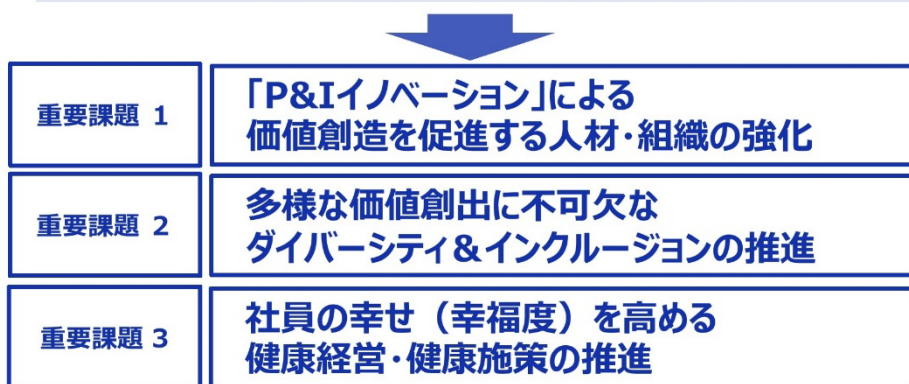
これまでも発信してきた、人に対する方針・ビジョン・宣言等の最上位の概念として、この人的資本ポリシーを位置付け、さらに人的資本の強化と最大化に取り組んでおります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

人的資本ポリシー

**社員を大切にし、大切にされた社員によって企業が成長し、
その社員が社会をより豊かにしていく**
[社会（社内・社外）で活躍できる人財へ]



DNPグループ統合報告書2022 p.30-33に掲載

そして、このたび、この人的資本ポリシーに基づき、人的資本の戦略として取り組むべき課題を、三つの重要課題として整理いたしました。

まず一つ目に、「P&Iイノベーション」による価値創造を促進する人材・組織の強化、二つ目に、多様な価値創出に不可欠なダイバーシティ&インクルージョンの推進、三つ目に、社員の幸せ（幸福度）を高める健康経営・健康施策の推進です。

そして、従来から取り組んできた人的資本に関わる施策を起点に、その狙いや効果を仮説立ててストーリーを描きました。その上で、一つひとつの関連性を分析し、さまざまな施策が企業価値の向上にどうつながっているのかを検証いたしました。

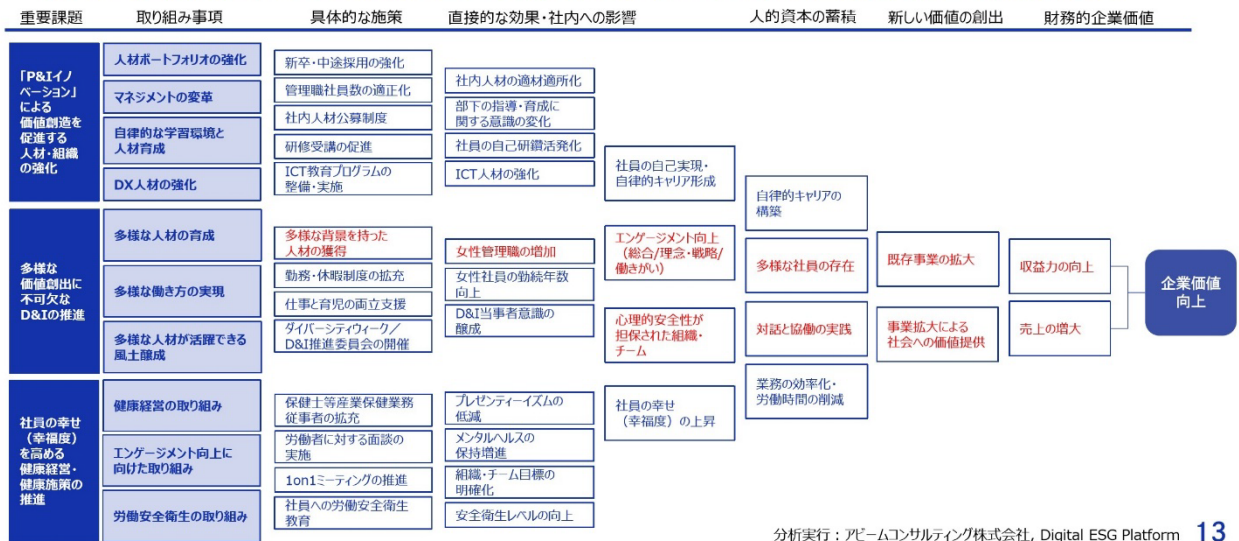
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

人的資本関連の取り組みにおける価値関連性分析（一部抜粋）



「価値連鎖の道筋」を解明する「価値関連性分析」で投資や各施策の成果と企業価値向上の相関を実証。



今、表示しておりますのは、コンサルティング会社の協力を得て、三つの重要課題それぞれで、当社が行ってきた取り組み事項・施策がどのように直接的な効果や社内への影響を与え、それが最終的に財務的な企業価値の向上に結び付いているのかを価値関連性分析を使って検証したものの抜粋となります。

データに基づきまして、企業価値の向上までの相関を実証できた例としては、今この表で、赤字で示しておりますが、ダイバーシティ&インクルージョンの推進として、多様な背景を持った人材の獲得を行ってきた結果、女性管理職の増加を通して、意思決定層の多様化により、エンゲージメント向上が図られ、多様な社員の存在、対話と協働の実践によって、既存事業の拡大や事業拡大による社会への価値提供に貢献し、売上の増大、収益力の向上につながっていることが実証されております。

今後も継続的にデータに基づいた検証を行っていくことで、人への投資や各施策がどのように効果を生み、最終的に企業価値向上へと結び付いているかを分析し、施策の実効性をより一層高めていきたいと考えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiam.com



一例：ダイバーシティ & インクルージョンの推進 KPI達成状況

DNP

女性管理職比率、女性管理職層・リーダークラスの人数はKPIを達成。
意思決定層の多様化と社員の意識と行動の変化を目指している。



DNPグループ統合報告書2022 p.68に掲載

14

例えば、ダイバーシティ&インクルージョンの推進においては、昨年、今ここに表示しております三つのKPIを設定いたしました。そのうち、女性管理職比率と女性管理職層・リーダークラスの人数については、どちらもKPIの目標を達成いたしました。

直近9月末時点の実績値を見ましても、女性管理職比率はさらにアップしまして8.4%、女性管理職層・リーダークラスの人数は、2016年2月末時点から2.2倍と順調に推移をしております。

ただ、男性育児休業取得率につきましては、残念ながら100%には達成しておりません。しかし、2021年度は、前年度54.3%の取得率から82.4%と、社員の行動に変化が見られております。直近9月末時点での実績値をとってみても87%と、さらに上がっており、今後も男性育児休業取得の定着化を進めてまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

- 1. 人材ポートフォリオの人材区分を従業員データに紐づけし、採用・人材育成計画をより精緻化**
 - ・人材ポートフォリオのデータをタレントマネジメントシステムに取り込み、人材ポートフォリオによる採用・人材育成計画をより精緻化していく。それにより、事業戦略に対する適材適所を実現する。
- 2. 近年開始した各施策のアウトカムの確認（現状データが不足）**
 - ・DNP価値目標制度（DVO制度）浸透・定着によるマネジメント変革
 - ・ICT人材/DX人材のスキルレベルの可視化
 - ・社員一人ひとりのダイバーシティ&インクルージョン実感度
 - ・社員一人ひとりの健康施策に関わる社員データ
- 3. 企業価値向上に向けた従業員エンゲージメントの把握および活用**
 - ・従業員エンゲージメントのデータ蓄積・分析を通じて、全体的なエンゲージメントの向上に繋げるとともに、企業価値向上に相関がある指標を捉え、施策・制度の見直し等、人的資本戦略に役立てていく。
- 4. 人的資本戦略の継続的なデータ分析・運用体制の構築による実効性評価**

15

今回、人的資本に関わる各施策の効果、企業価値の向上へとつながる価値関連性を分析する中で、いくつかの課題も見えてきました。

一つ目に、人材ポートフォリオで定義をいたしました人材区分を従業員データに紐づけして、タレントマネジメントシステムに取り込み、これまで行ってきた事業ポートフォリオと連動させた人材ポートフォリオによる採用・人材育成計画をより精緻化させることです。それにより、事業戦略に対する適材適所の人員計画の精度をより高めていきます。

二つ目に、この数年で開始してきた各施策のアウトカムをデータに基づいてしっかりと見ていくことです。今回のデータ分析においては、データが蓄積されていないために、その成果との相関性を正確に見ることはできませんでしたが、これはデータが集まったところで継続的に検証を行ってきたいと考えております。

三つ目に、企業価値向上に向けた従業員エンゲージメントの把握と、その活用を進めていくことです。エンゲージメントサーベイも、昨年11月に全従業員に導入したばかりですが、今後、企業価値向上に相関があるエンゲージメントの指標を捉え、分析することで、今後の施策・制度の見直しなどを行っていきます。

四つ目に、こうした人的資本の戦略と、それに基づく各施策の実効性を評価していくための継続的なデータ分析・運用体制の構築を図っていくことでございます。

以上のように、人的資本のより一層の強化に向けて、これからも積極的に取り組みを進めてまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

所存でございます。

私からの説明は以上となります。ありがとうございました。

若林：ありがとうございました。

それでは、続きまして、代表取締役専務の山口より、知的資本の強化についてご説明させていただきます。

それでは、お願いいたします。

(3) 知的資本の強化について

DNP

【基本的な考え】 DNPにおける知的資本の原点は「印刷」。世の中や市場の変化に先駆けて、「P&I」(印刷と情報)の強みを価値創出に展開。



山口：知的資本の強化につきましては、代表取締役専務の山口より説明申し上げます。

DNPの知的資本の原点は、印刷および印刷技術です。プリンティングとインフォメーションの掛け合わせ、すなわち「P&I イノベーション」により、社会課題の解決につながる価値を創出しています。

印刷の基本技術は、図のように情報処理技術から始まり、微細加工技術、精密塗工技術、そして製品化のための後加工技術等で、そこに大きな知的資本が内在し、当社の成長の源泉となるコアコンピタンスとなっております。

これらの運用、発展により、世界トップシェアのリチウムイオン電池用バッテリーパウチや有機ELディスプレイ製造用メタルマスク、各種光学フィルムや写真プリント用昇華型熱転写記録材な

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiam.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

どの事業を生み出してきました。

(3) 知的資本の強化について

DNP

【注力事業と知的戦略】

4つの成長領域における主な「注力事業」



- 収益性と市場成長性の高い注力事業を設定し、より強靱な事業ポートフォリオを戦略的に構築していきます。オープンイノベーションを推進するとともに、自社の優位性を確保するため、知的財産の戦略的獲得に力を入れています。
- 注力事業の事業戦略・開発戦略・知財戦略を「三位一体」の活動で推進して、価値創造プロセスを通じて知的財産を活かしたビジネスモデルを実現します。長期的に価値を生み出していくストーリーを描き、社内・社外の連携を強化していきます。

DNPグループ統合報告書2022 p.35に掲載 18

DNP では、四つの成長領域を設定し、その中の注力事業に特にフォーカスしております。

「データ流通」「IoT・次世代通信」「モビリティ」「環境」関連の事業に戦略的に取り組み、知的財産を積極的に獲得しております。特に競争優位とするために、コア技術だけではなく、周辺特許も多数取得しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

(3) 知的資本の強化について

【注力事業と知的戦略】

注力事業に関連する特許件数



- 「IoT・次世代通信」「データ流通」「モビリティ」「環境」に関連する事業に経営資源を集中させています。知的財産の獲得・拡大に関しても、4つの注力事業における特許の保有を、さらに強化していきます。

DNPグループ統合報告書2022 p.37に掲載 19

このグラフは、先ほどの四つの注力事業に関連した保有特許数を示しております。DNP が保有する特許の半数以上となっております。

これらの事業に経営資源を集中させていき、知的財産も周辺を含めて拡大させてまいります。

(3) 知的資本の強化について

技術・研究開発の体制

営業部門/分野	事業部(開発本部)	本社管轄	
		本社研究開発体制	統括
情報 コミュニケーション	出版イノベーション	技術開発センター(生産技術)	技術・研究開発本部(本社開発行政)
	情報イノベーション		
	イメージング コミュニケーション		
	Lifeデザイン(包装)		
生活・産業	生活空間	ABセンター(ICT開発)	技術・研究開発本部(本社開発行政)
	モビリティ		
	高性能マテリアル		
エレクトロニクス	ファインデバイス	研究開発・事業化推進センター(P開発)	技術・研究開発本部(本社開発行政)
	オプトエレクトロニクス		
新規事業分野			
		短期開発	中長期開発

- 2021年10月、研究開発・事業化推進センター設置「シーズ開発」機能と「事業開発」機能を一体化
- 「P&I」の強みを掛け合わせて、“次の次”を見据えた、より良い未来を実現する事業化テーマを集中的に推進

■【研究開発費(連結)】

○2022年3月期: 331億円

* 2013年3月期(308億円)から10年で1割増増加

* 本社開発部門: 約219億円

* 各事業部門計: 約112億円

DNPグループ統合報告書2022 p.36に掲載 20

ABセンターと研究開発センターに分散していた、モノづくり系の開発を、2021年10月に研究開

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiam.com

発・事業化推進センターに集約し、シーズ開発と事業開発を機能的に運用できるようにいたしました。

ABセンターは、ICT 開発に特化させ、システム系のビジネスに集中させています。昨年まで、ABセンターは、バッテリーパウチを中心とした高機能マテリアル事業とモビリティ事業を創出し、成果を出してきました。

次に、研究開発費用ですが、毎年 300 億円以上の投資を継続しております。本年は 331 億円となっております。

(3) 知的資本の強化について

<事例紹介> バッテリーパウチ事業について 一歴史、技術開発と事業展開一

DNP



食品包装技術をベースに、オールDNPのコンバーティング技術を活用。マーケット変化（EV化の流れ）を先取りした



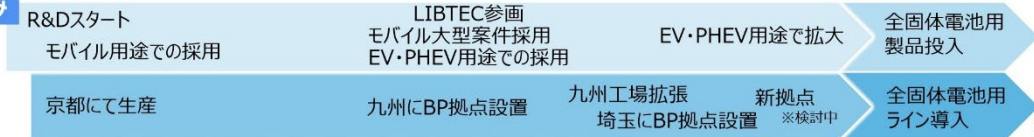
より軽く、より長く、より安全に、電池を包む



世の中の変遷



DNPの取り組み



21

それでは、ここで、DNPのコアコンピタンス技術を使い、脈々と開発を続け、今日、高いシェアとグローバルスタンダードとなったバッテリーパウチ事業についてご紹介申し上げます。

バッテリーパウチは、DNPの高機能フィルム技術をベースに、マーケットの変化を読み、EV化とスマホ拡大の中で事業化したビジネスでございます。

DNPでは、リチウムイオン電池が将来、軽量化と高い信頼性を求められることを予測し、開発を進めてまいりました。1990年代の前半でございます。2010年前後にスマホの最大メーカーに採用され、車載用は日系のEVに採用され、同時に花が開きました。

生産は、京都でパイロットラインを立ち上げ、本格増産は北九州で展開をしております。さらに、2拠点目として、埼玉・鶴瀬に新たに拡張し、2カ所目の拠点として現在操業しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiam.com

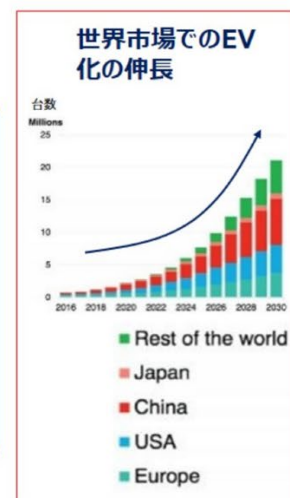


(3) 知的資本の強化について

DNP

＜事例紹介＞ バッテリーパウチ事業について ―知的資本と競争優位―

権利化 網羅的な特許出願 200件超 の権利を保有	ブラックボックス化 自社設計の材料と 独自プロセス (研究開発・事業化推進センター) 自社開発の 生産設備 (技術開発センター)	社外連携 材料メーカーとの 戦略的アライアンス 次世代電池は 自動車OEM、 電池メーカー との開発
---	---	---



出典：Bloomberg.com

22

バッテリーパウチ事業において、基本特許から、その周辺まで、保有特許は200件を超えております。自社設計の材料と自社開発の生産設備、および公開していないノウハウと知的資本により、競争優位を維持しております。

次世代電池についても、全固体型、クレイ型、全樹脂型等が出てきておりますが、それぞれに適合したパウチを現在開発しております。

サポート

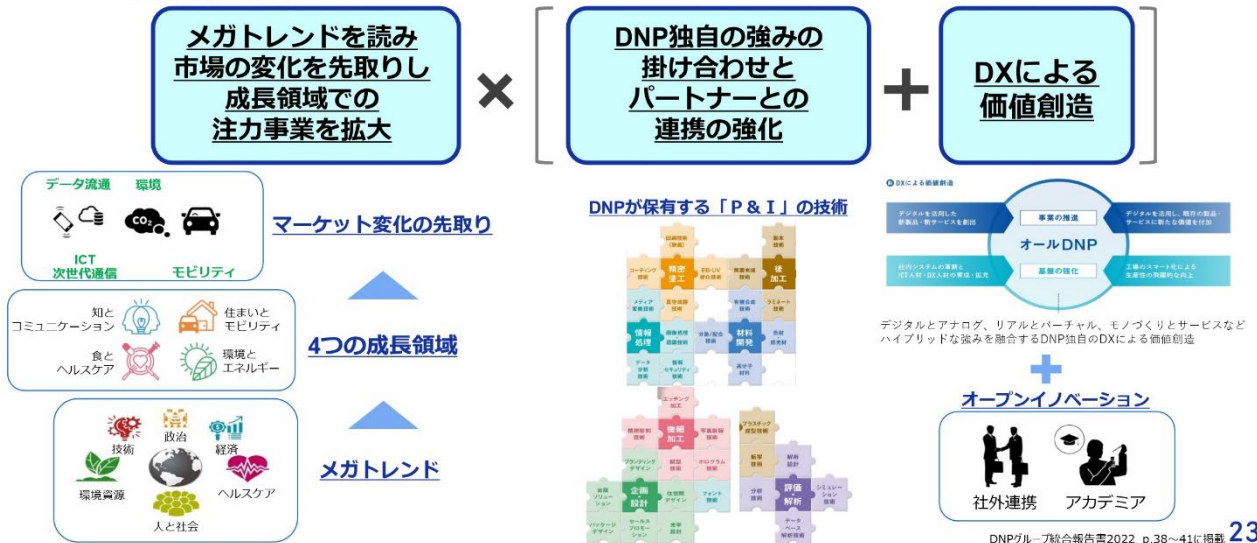
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

(3) 知的資本の強化について

DNP

【今後の方針】



最後となります。今後の方針についてです。

今後、ますます知的資本が重要となるため、注力事業については、さらなる深耕を深め、開発を行い、競争優位性を高めてまいります。社会課題の変化や注力事業の変化を先取りし、開発を進め、知的資本を今後も広げてまいります。

私からの説明は以上でございます。ありがとうございました。

若林：ありがとうございました。

続きまして、常務取締役の井上より、環境関連の取り組みについてご説明させていただきます。

それでは、お願いします。

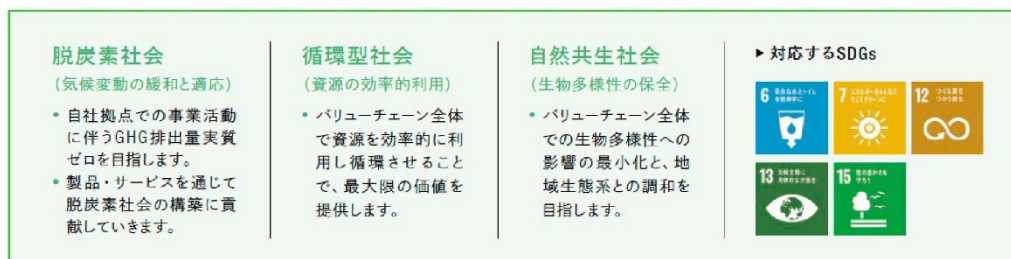
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

(4) 環境関連の取り組みについて

- 気候変動や海洋汚染、生物多様性の損失などが進み、地球の持続可能性が危惧される状況
- DNPは、持続可能な社会の実現に向け「DNPグループ環境ビジョン2050」を策定
- DNP自らがより良い未来をつくるための価値創出を加速

DNPグループ環境ビジョン2050



DNPグループ統合報告書2022 p.59に掲載 25

井上：常務取締役の井上でございます。

環境関連の取り組みについてご説明いたします。

近年、気候変動や海洋汚染、生物多様性の損失などが進んでおり、地球の持続可能性が危惧される中で、企業経営にとってもリスクがますます多様、かつ広範囲になってきています。

その中でも、私たち DNP は常に長期を見据えて、環境・社会・経済のリスクを分析・評価し、マイナスの影響を抑えるとともに、事業機会へと転換していくことが重要であると考えています。

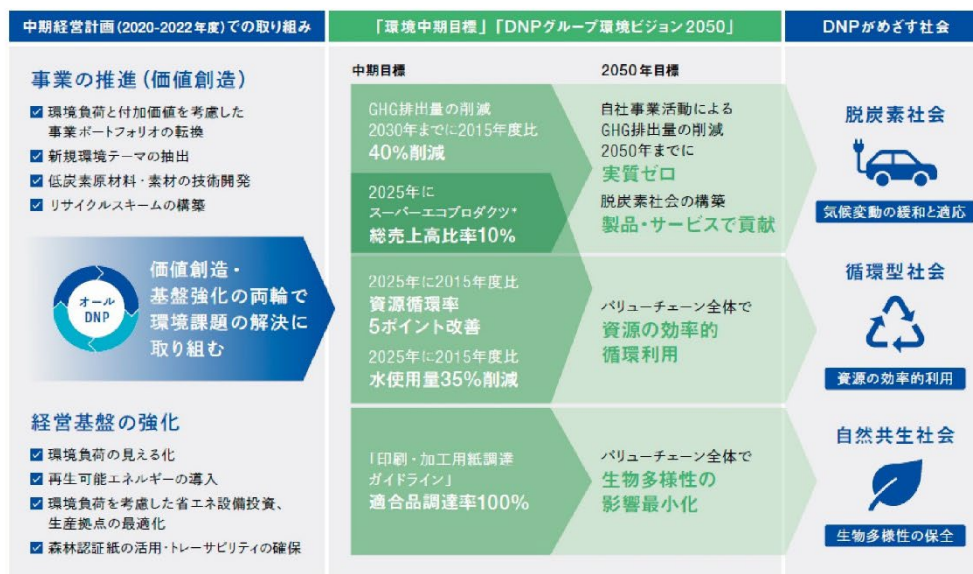
2020年3月には、サステナブルな環境・社会・経済のありたい姿として、「DNPグループ環境ビジョン2050」を策定いたしました。「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現に向けて取り組みを加速させています。

さまざまな環境課題の解決に取り組むことで、生活基盤を持続可能で安全、かつ安心なものにするだけでなく、人々の期待に応え、より良い未来をつくるためのDNPならではの価値創出を進めてまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

(4) 環境関連の取り組みについて



*スーパーエコプロダクツ：DNP独自の基準により特定した環境配慮に優れた製品・サービス

DNPグループ統合報告書2022 p.59に掲載

「環境ビジョン2050」では、画面の右側にあります3つの社会の実現に向けて、中長期的な目標を定め、事業の推進と経営基盤の強化の両輪で取り組んでいます。

まず、「脱炭素社会」の構築に向けては、2050年までに自社拠点での事業活動に伴う温室効果ガス排出量実質ゼロを目指してまいります。中期目標として、2030年までに2015年度比で40%削減させます。

また、脱炭素に貢献するさまざまな製品・サービスの開発、提供もさらに推進してまいります。

次に、「循環型社会」の実現につきましては、資源の効率的な利用を推進してまいります。特にプラスチックを中心にさまざまな活動に取り組んでおり、自社で生じる不要物に対するマテリアルリサイクルおよびケミカルリサイクルの割合であります「資源循環率」の向上に努めてまいります。

また、より持続可能なプラスチック製品の使用に関する取り組みとして、バイオマスプラスチックやリサイクル材など、代替素材を活用した製品開発などにも注力していきます。

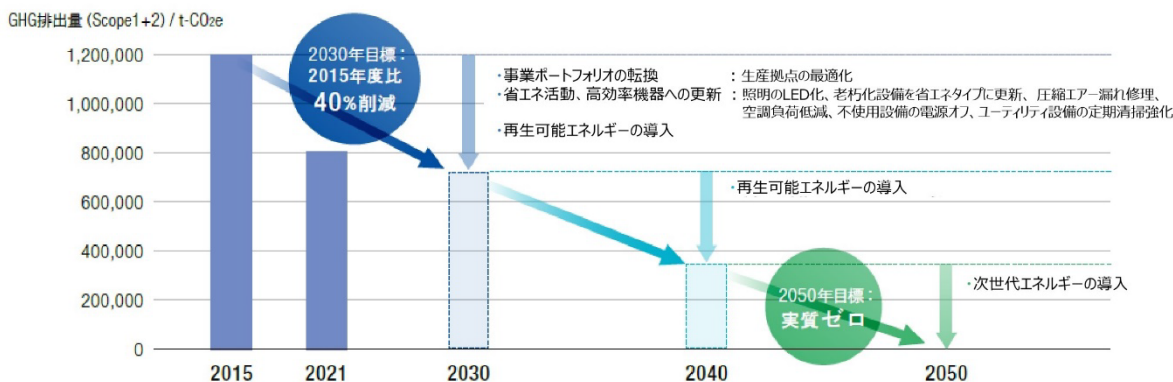
第三に、「自然共生社会」の構築に関しては、生物多様性に配慮した原材料調達や地域の生態系に配慮した緑地づくりなどを進めています。特に事業活動を行う上で、生態系への依存と影響が大きい紙の調達についてガイドラインを定め、森林認証紙の積極的な使用やトレーサビリティの確保を強化しています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

(4) 環境関連の取り組みについて

2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップ



本日は、最も重要なテーマであります、「脱炭素社会」の構築に向けた具体的な取り組みについてご説明いたします。

この図は、2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップでございます。GHG排出量、Scope1、2でございますが、現状80万トンでございます。これを2050年に実質ゼロにしていく。それまでに2030年には72万トン、2015年比40%削減という目標を定めて、達成に向けて取り組んでおります。

まず、エネルギーを多く使用します出版印刷や商業印刷などの事業を縮小し、環境負荷が小さく、付加価値の高いエレクトロニクス、バッテリーパウチ等の高機能製品への事業転換を進めております。

また、これまでに省エネルギーの取り組みを強化してきましたが、さらに現場活動にとどまらず、本社の研究所等も入って、製造プロセス、材料等、抜本的に革新するという手段を用いて、省エネの加速を進めてまいります。

2030年以降については、再生可能エネルギーのさらなる導入をしてまいります。そして、2040年以降は、水素等の次世代エネルギーへの転換を進めることで、カーボンニュートラルを実現してまいります。

また、このような施策を進めるに当たって、活動の判断材料のひとつとして、炭素に価格を設定するインターナルカーボンプライシングを活用しており、炭素の排出コストを加味した採算検討を行

サポート

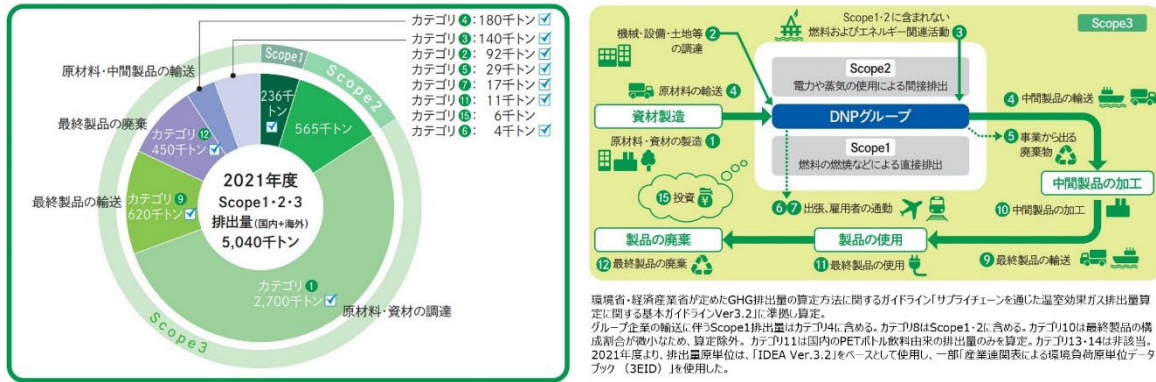
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiam.com

うことで、省エネ、環境面で効果のある施策を加速してまいります。

(4) 環境関連の取り組みについて



Scope3 排出量



28

次に、Scope3 の排出量でございますが、原材料調達段階でありますカテゴリ 1 の排出量が全体の約半分を占めております。次いで、最終製品の輸送、廃棄の排出量が大きな割合を占めております。

DNP は、主要サプライヤーの皆様に向けた説明会やアンケート、直接の面談を通じて、GHG 排出量削減の重要性を共有し、パリ協定が定める 2°C目標に準じた GHG 排出量削減目標である SBT の設定をお願いしております。

また、サプライヤーの皆様と削減に向けた取り組みを共有して、引き続きサプライチェーン全体の排出量削減に向けて連携を強化してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasiam.com



(4) 環境関連の取り組みについて

DNP

環境関連の取り組みの【指標と目標】

価値の創造 中期経営計画に基づいて注力事業の拡大を図り、製品・サービスを通じた脱炭素社会の構築に貢献する。	環境関連事業	1,145億円 (2020年度) ▶ 1,750億円 (2024年度)
	モビリティ関連事業	395億円 (2020年度) ▶ 1,000億円 (2024年度)
	スーパーエコプロダクツ総売上高比率	10% (2025年)

■スーパーエコプロダクツ例

内・外装焼付け印刷アルミパネル
アートテック®



リチウムイオン電池用バッテリーパウチ



環境配慮型パッケージング GREEN PACKAGING®



29

続いて、価値創造、すなわち事業を通じて「脱炭素」「資源循環」「自然共生」を実現してまいります。

環境関連ビジネスとして2020年度比で1.5倍、モビリティ関連事業としては2020年度比で2.5倍を2024年に実現するという高い目標を目指して、中期経営計画に基づいて拡大してまいります。

また、製品・サービスのライフサイクルを通じた環境負荷の低減に向けて、DNPでは環境配慮製品・サービスの開発指針を定めております。開発段階から環境に配慮した製品・サービスづくりを行っています。

この開発指針に基づき、DNP独自の基準で、ライフサイクル全体における環境配慮の度合いを評価し、特に優れた製品・サービスを「スーパーエコプロダクツ」として特定しております。

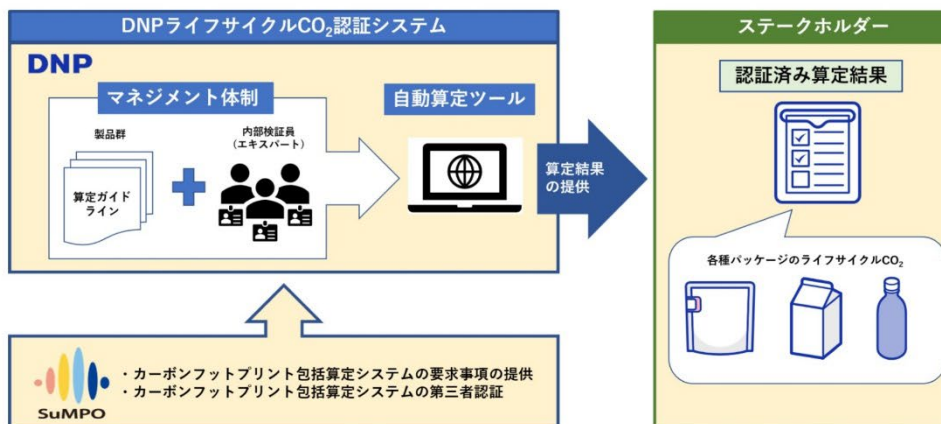
例えば、リチウムイオン電池用のバッテリーパウチや環境配慮パッケージ「GREEN PACKAGING」などがございます。これらのスーパーエコプロダクツの売上高を2025年に総売上高の10%まで拡大することを目標に掲げて、製品・サービスを通じた「脱炭素社会」の構築に貢献してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

DNPライフサイクルCO₂認証システム



また、製品ライフサイクルにおける CO₂ 排出量の定量化を進めています。

2022年4月、容器包装における原材料調達から製造にかかる CO₂ 排出量を自動判定するシステムを構築いたしました。収集するデータや CO₂ 排出量の計算方法等の算定ルールについては、一般社団法人サステナブル経営推進機構による第三者認定を得ることで、認証済みの算定結果として開示いたします。

現在、包装容器以外の各製品についても、製品ライフサイクルの CO₂ 算定を進めております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

(4) 環境関連の取り組みについて

Confidential

DNP

想定される気候リスクに柔軟かつ戦略的に対応し、事業活動のレジリエンスを中長期的に高めていく。

① 気候変動にともなう物理的影響の顕在化によるリスク (平均気温が4℃上昇するシナリオでのリスク)

気候関連のリスク	財務などへの影響	影響度	可能性	
大雨・洪水など風水害の増加	災害時の操業停止	・製造遅延による収益減少 ・災害対策のコストの増加、生産設備・拠点の防災対策、複数拠点での生産体制構築など	中	大
	サプライチェーンの寸断		・製造および出荷遅延による収益減少 ・原材料調達コストの増加、供給停止	中
気温の上昇、長期的な熱波	熱中症発症の増加などによる操業阻害	・製造遅延による収益減少 ・エネルギー費用の増加 ・設備投資の増加	中	大
	冷房需要の拡大によるコストの増加		中	大
河川流域等における水リスク	河川流域など水害が想定される場所に立地している拠点の操業停止	・製造遅延による収益減少 ・災害対策のコストの増加、生産設備・拠点の防災対策、複数拠点での生産体制構築 など	中	大

② 脱炭素社会への移行リスク (平均気温の上昇を2℃/1.5℃に抑えたシナリオでのリスク)

気候関連のリスク	財務などへの影響	影響度	可能性	
GHG排出量の規制強化	再生可能エネルギーの導入義務化	マイナス ・非化石証書購入費用 2030年時点 約6億円/年 ・排出権購入費用 2030年時点 約4-8億円/年 ・炭素税課税によるコスト影響 2030年時点 約88-105億円/年	小	大
	排出権取引制度の導入		小	中
	炭素税の導入		大	小
	サプライチェーンにおける脱炭素化の加速		・得意先からの削減要請の高まり ・取引契約への影響 ・原材料への価格転嫁	中
低炭素技術への移行	カーボンニュートラルに向けた技術革新の加速	プラス ・早期開発による市場獲得 ・次世代エネルギーの活用に向けた開発 →モビリティ関連事業の売上拡大 2024年度計画 1,000億円	大	大
顧客行動の変化	低炭素・環境に配慮していない製品・サービスの淘汰	・低炭素製品・サービスの開発促進・市場拡大 ・リサイクル材・バイオマス材・紙等の活用 ・製品ライフサイクルCO2の算定 →環境関連事業の売上拡大 2024年度計画 1,750億円	大	大
ステークホルダーの懸念増大	企業イメージの悪化や株価下落、投資対象からの除外	・情報開示 拡充、エンゲージメント強化 ・サステナビリティ先進企業としての優位性・人材確保	中	中

DNPグループ統合報告書2022 p.62~63に掲載 31

このような気候変動に関する取り組みについては、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) が提言するフレームワークなどを活用して、適時適切に情報開示をしております。

その中で、具体的な戦略を検討するために、事業活動に伴う気候変動によるリスクの抽出と、シナリオ分析による財務影響などについて評価を実施しております。

シナリオ分析の結果、気候変動に伴う物理的影響の顕在化が想定され、気温が上昇することで、短期的には豪雨災害の頻発や激甚化による操業停止、サプライチェーンの分断など、影響を受ける可能性が考えられます。また、中長期的には、平均気温の上昇や水供給の需給の変化によるコストの増加、操業阻害などについても想定されます。

これらのリスクにつきましては、各製造拠点における防災対策を進めてきました。

例えば、情報コミュニケーション事業の伸長分野でありますビジネスプロセスアウトソーシング、こういった分野は社会インフラに大きく関わる事業でございますが、これに関わる三つの拠点の浸水対策として、その心臓部であります変電所を、ハザードマップに基づいて高い位置に変更するなど、豪雨災害への備えを行っております。

また、エレクトロニクス系やバッテリーパウチのような高機能材料につきましては、製造拠点の複数化、分散化を進めております。さらに、調達先の多様化を図るなど、サプライチェーンマネジメントの強化に取り組んでいます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

 **SCRIPTS**
 Asia's Meetings, Globally

一方、脱炭素社会の構築に向けた移行リスクとしては、GHG 排出量の規制強化による再生可能エネルギーの導入拡大や排出権取引制度の導入、炭素税の導入などの可能性が高く、操業コストの増加が見込まれます。

また、低炭素製品・サービスへの需要や市場はさらに拡大し、低炭素技術への移行や開発促進がますます求められると考えられます。

これらの影響を最小限にし、また事業機会を拡大すべく、「DNP グループ環境ビジョン 2050」に掲げます、カーボンニュートラル実現に向けて、計画的な GHG 排出量の削減と中期経営計画に基づく注力事業の強化を進めてまいります。

社外からの評価

DNP

●DNPのサステナビリティに関する活動は社外からも高く評価されている。

- 2022年2月には、国際的な非営利団体CDPが行う「サプライヤー・エンゲージメント評価」で最高評価の「リーダー・ボード」に3年連続で選定



- GPIFが「ESG投資」で採用する5つの構成銘柄のすべてに、印刷業界で唯一選定



FTSE Blossom Japan



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



S&P/JPX
カーボン
エフィシエント
指標

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

- 世界的に権威のある社会的責任投資の指標「FTSE4Good Global Index」に22年連続で選定



FTSE4Good

DNPグループ統合報告書2022 p.110(掲載) 32

最後になりますが、このようなサステナビリティ活動に関する社外からの評価も高く得ております。

気候変動に関連した情報開示については、2022年2月に国際的な非営利団体CDPが行う「サプライヤーエンゲージメント評価」で最高評価の「リーダー・ボード」に3年連続で選定されました。

また、ESG全般について、年金積立金管理運用独立行政法人GPIFがESG投資で採用する5つの構成銘柄全てに選定されております。これは印刷業界唯一でございます。

さらに、世界的に権威のある社会的責任投資の指標である「FTSE4Good Global Index」にも、22年連続で選定されています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



今後も、DNP は継続して長期を見据えて、持続可能な、より良い社会に欠かせない価値を創出し続ける企業として成長してまいります。

私からの説明は以上でございます。ありがとうございました。

若林：ありがとうございました。

それでは、4つのセクションのご説明は以上となります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

